

笛吹川（ふえふきがわ）右岸の端麗な稜線歩き

黒金山（くろがねやま）－乾徳山（けんとくさん） 北村武彦

〔歩程〕	6時間40分
〔交通費〕	1万3880円（新宿起点・現地タクシー）
〔地図〕	川浦 金峰山（2万5千） 甲府（20万）

黒金山は、奥秩父最高峰の北奥千丈岳（きたおくせんじょうだけ）を起点とする長大な支稜の東端に位置する雄峰である。その湾曲している尾根は笛吹川西沢の源頭を巡っているので、黒金山は奥秩父の核心部と相対しており、国師ヶ岳（こくしがたけ）、甲武信ヶ岳（こぶしがたけ）が手に取るように眺められる。また黒金山から南下すると、尾根の先に乾徳山があり、甲府盆地の東部、峡東（きょうとう）地方からは黒金山から乾徳山への端麗な稜線が眺められる。



黒金山（左）と牛首（右）

昭和30年代から40年代にかけて、乾徳山から黒金山への縦走は盛んであったが、最近では衰微してしまったようだ。以前は徳和集落に一泊するか、夜行日帰りがほとんどであったが、今では長丁場の日帰りは敬遠されるようになったせいかもしれない。

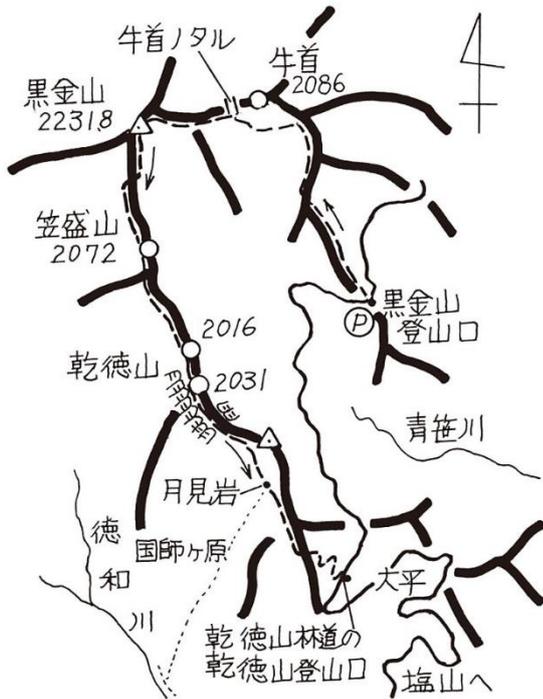
そこで時間と体力の消耗を著しく軽減できるコースを紹介しよう。それは、乾徳山林道を黒金山登山口まで車で行って、そこから登るのだ。 ※1

塩山（えんざん）駅北口からタクシーを利用し、国道140号を山梨市三富（みとみ）下釜口（しもかまぐち）から、大平高原（おおだいらこうげん）に上がり、乾徳山林道を走って黒金山登山口で降りる。30台ほど駐車可能な広場になっている。笛吹川を隔てて倉掛山（くらかけやま）が大きく見える。

登山口から尾根に取り付くと、すぐコザサの中の登りとなる。道幅は広く歩きやすい。やや傾斜が増してくると、右側の窪みに水場が現れる。短いトイが引いてある。

急登になって笹原が開けると、「ササ原展望台」に着く。行く手に牛首の三角峰とタルが見え、その左手に黒金山への尾根がゆったり延びている。来し方を振り返ると、笠取山（かさとりやま）から発して大菩薩嶺に連なる尾根が負けじと堂々と見える。

展望台から先は笹原が一段と広くなり、左手に黒金山から乾徳山に連なる尾根を眺めながら登る。やがて道は尾根の左側を巻くようになり、樹林帯に入る。道幅は狭まり少し荒



黒金山―乾徳山付近略図

れ気味である。

青笹川の源流を幾つも横切って行くと、牛首を巻き終えて、黒金山との鞍部・牛首ノタルに着く。南面は草原が開け明るく、休むには居心地が良い場所である。

牛首ノタルから草原を少し登ると樹林帯の入り口に道標がある。コメツガ、シラベなどがびっしり茂る樹林は台風による倒木が多く、登山道の修復もされていない。

※2 赤布を頼りに倒木を縫って登る。やっと倒木帯を抜け出て肩に出て、シャクナゲの群落をかき分けて登ると黒金山山頂に着く。

「山梨百名山」の標柱の立つ場所は展望が利かないが、北へ少し行くと北面が開けて

て奥秩父主脈の素晴らしい眺めが広がる。はるか左手奥には金峰山（きんぷさん）の五丈石（ごじょういわ）※3 も望める。

道標を確認して乾徳山の登山道に入る。樹林の中を5分ほど下ると右へ大ダオへの道を分ける。尾根が広く迷いやすい地点なので入り込まないようにロープが張られている。

急下降していくと南面が開けて乾徳山の岩峰がパッと目に入る。その右手に富士山が空に浮かんでいる。小さなコブを越えるが、ザレ場にロープが張られている。次のピークが笠盛山（かさもりやま）で、狭い山頂はぽっかり明るく岩屑が散乱している。乾徳山がぐっと近づき迫力がある。ここから先は樹林帯に行く。

乾徳山北の鞍部の水ノタル ※4 を過ぎ、小ピークを越えて少し登り返すと山頂に続く岩場の末端に出る。右に高原ヒュッテ（避難小屋）経由のう回路が分かれているが道は荒れている。直進して岩稜に行く。最後の岩場を鎖とはしごで登れば乾徳山山頂に着く。

山頂は変成岩の巨岩が積み重なっていて、高みに小さな石祠（せきし）が祭られている。南アルプス、八ヶ岳、御坂山塊（みさかさんかい）などの展望が広がる。

乾徳山頂からの下山路としては国師ヶ原を経て徳和集落に下るのが一般的であるが、途中の月見岩から大平高原に下るコースをとれば時間的にも体力的にも楽できる。ここでは後者を探る。

まず山頂直下の鳳岩（おおとりいわ）の長い鎖場を下るが、左手に巻き道もある。さらに鎖場が幾つか続く。月見岩は国師ヶ原の上端にあり、眼下に国師ヶ原のカヤト、背後に乾徳山の岩峰を見る景勝ポイントだ。

月見岩で国師ヶ原への下山路を分け、「道満（どうまん）尾根・大平」の道標で、左の道に入ると、すぐ樹林帯の道になる。どんどん道満尾根を下って行くと、高原ヒュッテに通

する作業道（改修中） ※5 に出る。これをジグザグに下って行くと、朝方通った乾徳山林道に出る。その手前に近道の道標があるので、近道に入り急下降する。

道は細くなるが、標識と赤布がたくさんついているので心配はない。林道に出た所が乾徳山登山口である。大平高原までの林道歩きはカットして、タクシーを呼ぶと良い。その際必ず「乾徳山林道の乾徳山登山口」と念を押すことが肝要だ。

（13年11月3日（日）歩く）

●コースタイム

塩山駅（タクシー40分）乾徳山林道黒金山登山口ー1時間40分ー牛首ノタルー30分ー黒金山ー50分ー笠盛山ー1時間ー乾徳山ー1時間ー月見岩ー1時間ー作業道ー40分ー乾徳山林道乾徳山登山口（タクシー35分）塩山駅

●費用

新宿＝塩山 JR 1940円

塩山駅＝乾徳山林道黒金山登山口

タクシー 約6000円

乾徳山林道乾徳山登山口＝塩山駅

タクシー 約4000円



笠盛山手前から乾徳山を望む

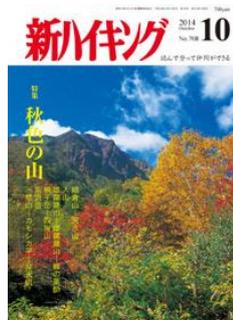
●問い合わせ先

山梨市役所観光課

0553-22-1111

塩山タクシー

0553-32-3200



このページの情報は、新ハイキング社発行の「新ハイキング 2014年10月号」に掲載された記事を、新ハイキング社の許可を得て転載したものです。

掲載当時の文章をそのまま掲載していますので、コースの現況や交通機関等の情報が現在と相違していることがあります。（一部修正箇所は注釈を加筆しています）

実際にコースを歩いてみて、「がけ崩れで通れなくなっている」「コースが付け変わっている」「新しく標識ができています」などの情報がありましたら、山梨市観光協会（山梨市役所観光課内）まで情報をお寄せください。

- ※1 乾徳山林道は冬期に閉鎖されます。また、天候により通行止となる場合があります。
詳しい情報は、峡東林務環境事務所治山林道課 電話 0553-20-2727
- ※2 平成 28 年 12 月現在、倒木は除去済みです。
- ※3 現在、五丈岩と表記されることが多いです。
- ※4 現在は、う回路の分岐点が一般に水ノタルと呼ばれています。
- ※5 作業道の改修は終了しています。なお、作業道は許可車両以外の車両通行はできません。